

令和元年度岩手県政策評価委員会

(開催日時) 令和2年2月13日(木) 14:00～14:40

(開催場所) 岩手県公会堂 2階21号室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 委員長及び副委員長の選任について
 - (2) 各専門委員会委員の指名について
 - (3) 令和元年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について(報告)
 - (4) 令和元年度政策評価結果等の政策等への反映状況について(報告)
 - (5) その他
- 4 閉 会

委員

加藤徹委員長、吉野英岐副委員長、泉桂子委員、市島宗典委員、小笠原敏記委員、狩野徹委員、小井田伸雄委員、清水真弘委員、竹村祥子委員、谷本真佑委員、西田奈保子委員、松山梨香子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員

1 開 会

<事務局から開会宣告>

2 挨拶

○北島政策推進室評価課長 それでは、開会に当たりまして政策地域部政策推進室政策監の村上から御挨拶を申し上げます。

○村上政策推進室政策監 ただいま御紹介をいただきました政策推進室政策監の村上でございます。一言だけ御挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、このたび委員就任に御承諾いただきましたこと、またお忙しい中、本日委員会に御出席いただきましたこと、改めまして厚く御礼申し上げます。

御案内のとおり、本年度からいわて県民計画(2019～2028)、県の新しい総合計画がスタートいたしました。この県民計画ですけれども、幸福をキーワードとしまして「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を目標に、健康・余暇、あるいは家族・子育てといった10の政策分野を設定したところでございます。そして、この10の政策分野ごとに幸福に関連する客観的な指標、いわて幸福関連指標を設定させていただいてございます。今年度は新年度ということになります。令和2年度からは計画2年目ということになりますので、いわて幸福関連指標等各種指標の実績を踏まえた評価が始まってまいります。

県では、こうした指標の状況に加えまして、委員の皆様の見解、あるいは社会経済情勢等を踏まえた評価を行うとともに、この政策評価委員会の意見を伺いながら県民や県に関

わる方々の幸福度を高める施策を推進していきたいと考えておりますので、どうぞ委員の皆様から忌憚のない御意見をいただきますようお願いを申し上げます。

本日の委員会でございますが、正副委員長の選任、それから各専門委員会委員の指名、今年度の各専門委員会の開催状況とともに、政策評価結果の政策等への反映状況について御報告をさせていただき予定でございます。また、この委員会開催後は、引き続き各専門委員会の開催も予定してございます。

本日は、お忙しい中でございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○北島政策推進室評価課長 委員の皆様のお手元に辞令書をお届けしております。本委員会は、知事の諮問機関でありますので、本来であれば知事がお一人お一人に辞令書を交付すべきものですが、時間の都合もございまして、このような形とさせていただきます。御了承いただきたいと思います。

なお、委員の任期は、政策等の評価に関する条例の規定により、令和2年2月1日から令和4年1月31日までの2年間となりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、本日は委員改選後初めての会議となりますので、私から委員の皆様を五十音順に御紹介をさせていただきます。

石川奈緒委員でございますが、遅れて出席予定となっております。

続いて、泉桂子委員でございます。

○泉桂子委員 泉です。よろしくお願いいたします。

○北島政策推進室評価課長 市島宗典委員でございます。

○市島宗典委員 市島でございます。よろしくお願いいたします。

○北島政策推進室評価課長 小笠原敏記委員でございます。

○小笠原敏記委員 小笠原です。よろしくお願いいたします。

○北島政策推進室評価課長 加藤徹委員でございます。

○加藤徹委員 加藤でございます。よろしくお願い致します。

○北島政策推進室評価課長 狩野徹委員でございます。

○狩野徹委員 狩野です。よろしくお願いいたします。

○北島政策推進室評価課長 工藤昌代委員でございます。本日は都合により欠席されております。

小井田伸雄委員でございます。

○**小井田伸雄委員** 小井田でございます。よろしくお願いいたします。

○**北島政策推進室評価課長** 斉藤徹史委員でございます。本日は都合により欠席されております。

島田直明委員でございます。本日は都合により欠席されております。

清水真弘委員でございます。

○**清水真弘委員** 清水でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**北島政策推進室評価課長** 竹内貴弘委員でございます。本日は都合により欠席されております。

竹村祥子委員でございます。

○**竹村祥子委員** 竹村です。どうぞよろしくお願いいたします。

○**北島政策推進室評価課長** 谷本真佑委員でございます。

○**谷本真佑委員** 谷本です。お願いします。

○**北島政策推進室評価課長** 西田奈保子委員でございます。

○**西田奈保子委員** 西田です。よろしくお願いいたします。

○**北島政策推進室評価課長** 松山梨香子委員でございます。

○**松山梨香子委員** 松山です。よろしくお願いいたします。

○**北島政策推進室評価課長** 武藤由子委員でございます。本日は都合により欠席されております。

八重樫健太郎委員でございます。

○**八重樫健太郎委員** 八重樫と申します。よろしくお願いいたします。

○**北島政策推進室評価課長** 山本英和委員でございます。

○**山本英和委員** 山本です。よろしくお願いいたします。

○**北島政策推進室評価課長** 吉野英岐委員でございます。

○吉野英岐委員 吉野でございます。よろしくお願いいたします。

〔事務局から委員 20 名中 14 名の出席により会議が成立する旨の報告〕

3 議 事

(1) 委員長、副委員長の選任について

○北島政策推進室評価課長 それでは次に、議事に入ります。

政策等の評価に関する条例の規定により、会議の議長は委員長が務めることとされておりますが、本日が委員改選後最初の委員会でございますので、委員長が決まりますまでの間、暫時政策地域部政策監の村上が議長役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○村上政策推進室政策監 それでは、大変僭越でございますが、委員長が決まりますまでの間、暫時議事を進めさせていただきます。着座にて失礼します。

それでは、議事の(1)、委員長及び副委員長の選任についてに入らせていただきますが、条例の規定によりまして、委員長及び副委員長の選任は委員の互選によることとされております。

互選の方法でございますが、いかなる方法で互選するかお諮りをいたしたいと思っております。いかがでしょうか。

特に御意見等がなければ、事務局からの指名推選という形にさせていただきたいと思っておりますが、よろしゅうございますでしょうか。

「異議なし」の声

○村上政策推進室政策監 それでは、事務局から推薦をお願いします。

○北島政策推進室評価課長 事務局といたしましては、前委員長の加藤徹委員が委員長に適任と思われまますので、推薦いたします。

また、副委員長は、同じく前副委員長の吉野英岐委員を推薦いたします。

○村上政策推進室政策監 ただいま事務局から、委員長には加藤徹委員、副委員長には吉野英岐委員の推薦がございましたが、御異議ございませんでしょうか。

「異議なし」の声

○村上政策推進室政策監 御異議なしということで、確認させていただきます。

それでは、委員長に加藤徹委員、副委員長に吉野英岐委員がそれぞれ選任されました。委員長、副委員長におかれましては、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、加藤委員長には委員長席の方にお移りいただき、以後の議事の進行をお願いいたします。

○加藤徹委員長 それでは、ただいま前回に引き続き委員長を拝命いたしました加藤でございます。今年の冬は非常に異常な感じで、雪が極端に少ない状況です。仙台におきましても、今週月曜日、10日の日に今シーズン初めて5、6センチ積雪したのですが、あっという間に消えてしまいまして、このような状況で推移しますと、春先の田植え時期の水、あるいは一番水を多く必要とする夏場あたりには大変な水不足の状況にさらされるのかなという感じもしておりますし、昨年の台風19号による災害、それら併せ見ますと、温暖化による気候変動が予測以上に早く進行している感じがいたしております。

ところで、岩手県では新しい長期総合計画であります、先ほど政策監の方から御紹介いただきましたいわて県民計画の政策が本年度、いわゆる2019年度から始まっておりまして、本委員会ではこのような状況下におきまして、知事等からの諮問案件につきましてそれぞれの委員会で審議いただくこととなります。新しく就任していただきました皆様にも遠慮なく活発な意見を出していただき、十分な審議の下に一つ一つ諮問案件に委員会としてきちんとした答申ができればと考えております。

つきましては、委員の皆様には、絶大なる御協力を心よりお願いを申し上げまして、簡単ではありますが、始まりの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(2) 各専門委員会委員の指名について

○加藤徹委員長 それでは、お手元の次第によりまして議事を進めさせていただきたいと思っております。

議事の(2)、各専門委員会委員の指名についてであります。条例の規定により、当委員会には政策評価専門委員会、公共事業評価専門委員会、それから大規模事業評価専門委員会の3つの専門委員会が設置されております。

各専門委員会に属すべき委員の指名につきましては、条例の規定により、委員長が指名することとされておりますので、私の方から指名させていただければと思います。

ただいま事務局の方から資料を配付させていただきますので、少しの間お待ち願います。

それでは、ただいま配付させていただきました資料の記載どおり、各専門委員会の委員の方々にはこのように指名させていただきたいと思っております。各委員の皆様、これにつきまして異議等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

「異議なし」の声

○加藤徹委員長 それでは、そのようにお引受けいただければと思っております。

(3) 令和元年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について（報告）

○加藤徹委員長 それでは次に、議事となっておりますが、報告事項になってまいりますけれども、議事の(3)、令和元年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況についてということで、まず事務局の方から御説明をお願いします。よろしくお願いいたします。

〔事務局、資料1に基づき説明〕

○加藤徹委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局からの説明につきまして、何か御質問、御意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

「なし」の声

（４）令和元年度政策評価結果等の政策等への反映状況について（報告）

○加藤徹委員長 では、次の議事の方に移らせていただきたいと。それでは、議事の（４）、政策評価結果等の政策等への反映状況について、事務局の方から御説明をお願いします。

〔資料２、冊子に基づき説明〕

○加藤徹委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの説明につきまして何か御質問等ございませんでしょうか。どのような内容でもいいのですが、御質問ございませんでしょうか。

「なし」の声

○加藤徹委員長 この冊子や報告書は、委員の皆様にも事前にメールで全員に送信されていたかと思いますが、目を通していただいて、今説明いただいたこと以外でも結構ですが、何か御質問等ございませんでしょうか。

○小井田伸雄委員 よろしいでしょうか。

○加藤徹委員長 はい、どうぞ。

○小井田伸雄委員 私の方は、今年度から、今回から新規でということで委員を務めさせていただくので、恐らく既に委員になられている方はもう御存じのことだと思うのですが、ちょっと確認させていただければと思います。

資料２の３枚目で、先ほど政策体系の指標の設定というところで、いわて幸福関連指標、それから具体的推進方策指標というものを説明していただいたのですが、その指標そのものがどういったものなのか教えていただければと思います。

○北島政策推進室評価課長 皆様には、いわて県民計画の政策推進プランの冊子を机上に配付しております。その資料の 271 ページ、例えばⅠの健康・余暇分野においては、健康寿命、自殺者数などを設定しており、各政策分野ごとにそれぞれ指標を設定しております。次に 7 ページを御覧いただきたいのですが、これは健康・余暇分野の政策項目 1 のページになりますが、9 ページ以降に県が取り組む具体的な推進方策ということで、①の生涯を通じた健康づくりの推進の指標として、がん精密検査受診率ですとか、そういったものを設定しています。

○**小井田伸雄委員** 私が取りあえず理解した範囲であれば、この指標を前提として各事業を評価するという、そういう理解でよろしいでしょうか。

○**北島政策推進室評価課長** 指標の達成度を中心に、県民意識の状況とか、社会経済情勢を踏まえて評価していくことになります。

○**加藤徹委員長** 御理解よろしいでしょうか。

○**小井田伸雄委員委員** はい、大丈夫です。ありがとうございます。

○**加藤徹委員長** ほかにございませんでしょうか。

「なし」の声

○**加藤徹委員長** もしなければ、私の方から1つだけ。

反映状況報告書の中の方なのですが、教育分野の14ページです。そのところで、課題と今後の方向にICTを活用した教育環境の整備・充実を図るとありますが、このところ、具体的にはもう少し御説明いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

○**大畑教育企画室教育企画推進監** 教育委員会事務局、大畑と申します。よろしくお願いをいたします。

ICTの活用をする環境整備というところでございますけれども、お手元の反映状況報告書の45ページをお開きいただきたいと思っております。45ページ、政策項目11の児童生徒の確かな学力の育成の部分に記載してございますけれども、反映結果の黒ポツの2つ目のところ、県立学校ICT機器整備事業費に2億3,000万円余の事業を当初予算に計上してございます。この事業におきましては、県立高校等20校を対象に電子黒板機能付きプロジェクター、それから先生と指導者用のパソコン、それから実物投影機、そういったものの整備をするということにしております。電子黒板機能付きプロジェクターにつきましては、各普通教室、特別教室に整備をする形で考えてございます。対象となる20校につきましては、国指定の研究指定校を受けている学校、それから県指定の研究指定校、それから遠隔教育の実証を今研究してございますので、そういった教育を実施しているいわゆる小規模校を対象にして、20校の選定をしております。今回20校選定しているのは、先行的にではなくて、その結果を踏まえて順次計画的に、財政状況も見ながら整備を進めていこうということで考えてございます。

それから、ICT機器整備につきましては、45ページの黒丸の3つ目、いわて学びの改革研究・普及事業費というものを予算に計上してございます。備品整備、道具として先生方に活用していただく、子どもたちが分かる授業を進めていただくために道具として整備をしてまいりますので、この道具が有効に活用されるような研究を進めていきたいということで、ソフト事業として改革研究・普及事業を計上してございます。この事業におきまして、岩手大学、県立大学と連携をして実証研究を行います。研究指定校として、小中学

校各2校、県立高校3校、合計7校を指定して、実際プロジェクター、電子黒板を普及したり、あるいは1人1台のパソコンの環境も、一部ではありますけれども、環境の整備をして、子どもたちにパソコンを使わせながら授業を進めるために、効果的にやっていくためにはどういうことができるのか。そういったところも岩手大学、県立大学と連携をして研究をしていくこととしてございます。

○加藤徹委員長 ありがとうございます。非常に丁寧に御説明いただきまして、理解できました。ありがとうございます。

ほかに御質問等ございませんでしょうか。

「なし」の声

○加藤徹委員長 なければ、この議案につきましては、これで了承していただいたということではよろしいでしょうか。

「異議なし」の声

○加藤徹委員長 では、このようにさせていただきます。

(5) その他

○加藤徹委員長 それでは、用意された議事はここまでなのですが、(5)としてその他とありますけれども、事務局の方で何か用意されたものありますでしょうか。特にないということですね。

委員の皆様の方から、この際に御質問、御意見等何かございませんでしょうか。

「なし」の声

○加藤徹委員長 それでは、議事の部分についてはここまでで終了とさせていただきますので、マイクの方は事務局の方に戻させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○北島政策推進室評価課長 加藤委員長、ありがとうございました。

4 閉 会

〔事務局から閉会宣告〕